

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	いろいろばらす		公表日 令和8年3月13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		国の基準を満たしています。安全に過ごせるよう部屋の使い方や教材の出し方を工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別療育を行っているため、1対1で対応しています。今後も職員の専門性を高め、自己研鑽に努めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚表示やスケジュールの活用による情報伝達など、状況に合わせながら環境設定を行っています。	室内はバリアフリーになっていますが、玄関に段差があるため、個々に応じた環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日頃から衛生管理の徹底、必要に応じて消毒をし、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別療育専門のため個別の部屋を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心がけ、ミーティングや会議等で職員で話し合う場を設け、業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け自己評価を実施しています。評価や意向を把握し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議やミーティングで話をする時間を設けています。話し合いの内容を支援に活かしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行っていません。実施に向けては今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修の参加や内部研修を行い、職員の資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しています。今後は事業所内にも掲示し、公表していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者の方の意向やお子さんの日頃の様子を職員間で共有し、分析した上で児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員で共通理解を図り、会議で意見交換を行い、児童発達支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		より良い支援ができるよう会議等で内容の共有、検討し、児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんの日頃の様子を観察や標準化されたアセスメントを使用しています。また、専門機関に通っているお子さんは、検査結果や診断書等をいただいています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		発達状況や保護者の方の要望等を伺い、支援に必要な項目を選択し、具体的な内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容については担当する職員が立案していますが、職員間で内容を共有しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		発達段階や課題に応じて活動内容を発展させています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育専門のため、集団活動は行っていません。一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にミーティングを行い、前日の振り返りやプログラムの内容の情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		翌日のミーティングで振り返りを行い、職員間で情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容や保護者の方との話し合いを記録し、検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、支援内容の見直しの必要性があるかを判断しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や担当職員など適任者を選んで出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		病院や地域の保健師、相談支援事業所等の関係機関と連携し、支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行先や保護者の方の要望に応じて、情報の共有や相互理解を図っています。担当者会議に参加し、情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		情報提供書での情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			研修等に参加することはありますが、さらに連携を密にしていきたいと考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			個別療育専門のため交流は行っていません。必要に応じて検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			療育後に児童発達支援計画の説明や家庭での様子を伺い、発達の状況や課題等について共通理解を図っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			外部の研修については、掲示にて情報提供をしています。	内部での研修は現在実施できていないため、今後検討していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に説明しています。丁寧に分かりやすく説明できるよう心がけています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			保護者の方には、利用の際や面談時に意向を伺っています。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			個別支援計画の様式を示し、具体的な例なども加えながら分かりやすい説明を心がけています。保護者の方の同意を得ています。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			療育後に保護者の方から話を伺う時間を設けています。また、定期的に面談を行い、情報の共有を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在父母の会や保護者会は開催していません。今後検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		相談や申し入れがあった場合、面談や電話にて迅速に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は契約時に説明しています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		活動内容や連絡事項については個々にお伝えしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○		個人情報に記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		お子さんや保護者の方に伝わりやすいような説明を心がけています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の学生を積極的に受け入れています。現在地域住民を招待することはありませんが、地域に向けた取り組みを今後検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		マニュアルを策定し、職員への周知、契約時に保護者の方へ説明をしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		マニュアルを策定し、訓練等を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		契約や面談時、病院受診後に確認し、職員間で共有しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供はありませんが、アレルギーの有無を保護者さんに確認し、職員で内容を共有しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		安全計画に基づき、研修や訓練を実施しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		契約時に確認しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		ヒヤリハットがあった場合全職員で情報共有を行う体制が整っています。また、危険な場所がないか確認を行っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○		外部の研修への参加や内部研修として研修や委員会を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		契約時に重要事項での説明と発達支援計画への記載をしています。	